

科目名		3DインテリアII			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	コーディネーターの実務に必要な、プレゼンテーションの必要性と技法を理解し、コンペ作品等に対応する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. ポートフォリオの制作を中心に見せ方、描き方学び、就活に活かす作品を作る。 3. 条件に則したプレゼンツールの進め方の基本を理解する。 4. コンペに応募し作品を作成、評価、解説行う				
学習目標 (到達目標)	インテリアコーディネーターの業務においてプレゼンテーションの重要性を理解します。3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアコーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボードをつくるテクニックを学びます。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 ②3DインテリアデザイナーNeo 3				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ポートフォリオの制作 ①ポートフォリオの表紙制作 ②課題のブラッシュアップ ③就活に活かせる作品集としてまとめる			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の演習。 レイアウトや立体構成の基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
2	インテリアプランニングコンペ2020 参加 ①テーマを理解し、作品の核となるキーワードを見つける。 ②作品のコンセプトを考え、デザインにどう反映するか考える。 ③付帯条件を理解し、空間の全体イメージを決める。 ④作品で使用する、インテリアエレメント(要素)を決める。 ⑤インテリアエレメント(要素)を選定する。 ⑥3Dベース制作 ⑦プレゼンボード制作			方法：作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表まで工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに、入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
3	課題プレゼンシート最終締切 7/21 (火)			プレゼンボードA3 完成させ提出する。	
4	課題発表			講評→解説	
5					
6					
7					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題	平常点	出席率		デザインコンペへの参加を通じ、インテリアデザインの表現と、訴求力のあるポートフォリオ制作行う。 後期の卒業制作に向けて、プレゼンボード、プレゼン資料作成のノウハウを学び、トレンドの分析力、マーケティング要素。条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。企画内容の基本を固め、各作業工程の演習しっかり積み上げることを重視し作品精度を上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。	
60 %	40 %	10 %	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	インテリアコーディネーターとして22年実務に携わる。				